

姫路市総合交通計画（案）に関する
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

1 意見募集公表資料

- (1) 姫路市総合交通計画（案）
- (2) 姫路市総合交通計画（案）【概要版】

2 意見募集公表日

令和3年3月24日（水）

3 意見募集期間

令和3年3月24日（水）～令和3年4月23日（金）

4 意見提出件数

6通18件

5 意見の件数内訳

区 分	件数
(1) 意見を反映し、計画（案）を修正するもの（修正）	3
(2) 意見が既に計画（案）に記載されている（記載済）、または 今後の参考にするもの（参考意見）	15
合 計	18

※市の考え方に記載されているページ数は資料1（計画案）のページを示しています。

6 意見の概要及び市の考え方

	意見の概要	件数	市の考え方
1	溝口駅を利用しているが、昼間は30分に1本しか電車が来ないため、時間帯によってはかなり待たなければならない。もう少し本数を増やしてほしい。	1	J R 播但線につきましては、昼間の時間帯で約 30 分に 1 本の間隔で運行していること、また特に朝のピーク時間帯において混雑していることは認識しております。 「骨格公共交通ネットワークの維持・確保」に示すとおり、特に混雑している朝の時間帯における増便・増結を促進するなど、利用者ニーズに合わせたサービスの提供に取り組んでまいります。 P82, 85
2	播但線は朝のラッシュ時にかなり混雑する。ラッシュ時だけでもよいので車両を増設してほしい。	1	
3	ある程度の市街地については、通学や通勤で利用できるような現状程度の公共交通（バスや鉄道）を維持してもらいたい。	1	既存のバス路線につきましては、「骨格公共交通ネットワークの維持・確保」に示すとおり、日常的な移動を支える交通手段としてバス路線網の再編を含め、利用者のニーズに沿ったサービスの拡充に努めるとともに、地域住民への積極的な利用促進を進めてまいります。 鉄道につきましても、「骨格公共交通ネットワークの維持・確保」に示すとおり、本市の基幹公共交通軸として、現状のサービス水準を維持・確保していくとともに、比較的サービス水準の低い路線につきましては、サービスの改善・向上を目指してまいります。 P82, P87-89
4	路線バスの再編は、ぜひ行ってほしい。バスが走っていない道路へのバス停の設置やバスの多い場所から少ない場所への転換をお願いしたい。 きめ細かく利用者の立場に立った工夫をしてほしい。	2	バス路線網の再編につきましては、地域住民に最適な移動サービスを提供するため必要であると認識しております。 「骨格公共交通ネットワークの維持・確保」に示すとおり、ルートの改編や重複路線の見直し、運行ダイヤの調整、柔軟な料金体系の設定など効率的で利用しやすいバス路線網の再編に向け、地域や交通事業者と一体となって取り組んでまいります。 P89

5	<p>花田町は公共交通がなく不便である。372号線にはバス路線もなく、社街道まで行かなければならない。</p>	<p>1</p> <p>バス路線網の再編につきましては、地域住民に最適な移動サービスを提供するため必要であると認識していることから、「骨格公共交通ネットワークの維持・確保」に示すとおり、ルートの変更や重複路線の見直しなど効率的で利用しやすいバス路線網の再編に向け、地域や交通事業者と一体となって取り組んでまいります。</p> <p>あわせて、花田地域は地域公共交通の導入を優先的に検討する地域と定めており、「小規模需要を支える公共交通の整備」に示すとおり、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーなど各地域の交通需要に応じた地域公共交通を住民、交通事業者と連携しながら導入検討を進めてまいります。</p> <p>P89, P102-105</p>
6	<p>私が居住している地域には路線バスやタクシー等の公共交通が全く無く、自家用車がなければ買い物すら行けず、親戚や近所の協力を得て生活している。</p> <p>計画の中に「地域公共交通の導入を優先的に検討する地域」とあるが、具体的にどのような方法で優先してもらえるのか。</p>	<p>1</p> <p>市内には郊外部を中心に駅やバス停が最寄りにない公共交通空白地や公共交通の運行頻度が少なく利用しにくい公共交通不便地が散在しており、そのうち一定規模の面積・人口が集中している10地域を地域公共交通の導入を優先的に検討する地域と定めております。</p> <p>これらの地域につきましては、「小規模需要を支える公共交通の整備」に示すとおり、コミュニティバスやデマンド型乗り合いタクシーなど各地域の交通需要に応じた地域公共交通を住民、交通事業者と連携しながら導入検討を進めてまいります。</p>
7	<p>交通空白地域が多く驚いている。「鉄道駅から1km、バス停から500m」というが、もっと地域住民や働く人々など生活者の実態に合ったものにしてほしい。バス停も場所によっては路線上に少ないところもあり不便である。</p>	<p>1</p> <p>これらの地域につきましては、「小規模需要を支える公共交通の整備」に示すとおり、コミュニティバスやデマンド型乗り合いタクシーなど各地域の交通需要に応じた地域公共交通を住民、交通事業者と連携しながら導入検討を進めてまいります。</p> <p>P102-105</p>
8	<p>バスベイはぜひ設置してほしい。バス停でバスが停車するため、渋滞の原因となっている。</p>	<p>1</p> <p>バスベイは、渋滞緩和や追突事故の防止、後続車両からの見通しの確保、バスの定時性の確保などのために必要な施</p>

	「バスベイの設置を検討する」と書かれているが、あまりに後ろ向きではないか。「バスベイの設置を進めます」くらいを書くべきではないか。		<p>設であると認識しております。</p> <p>素案では「バスベイの設置を検討する」と記載しておりますが、市として取り組む姿勢を示すため、<u>ご意見のとおり「バスベイの設置を進めます。」に修正します。</u>(P110, 112 を修正)</p> <p>P110, 112</p>
9	バス停にベンチを置いてほしい。	1	<p>市内には上屋やベンチが設置されていないなど待合空間機能が十分でないバス停が多くあることは認識しております。</p> <p>「交通結節点整備と機能強化」に示すとおり、まずは特に利用者の多いバス停について上屋やベンチの設置など待合環境の改善に取り組んでまいります。</p> <p>P117, 121</p>
10	<p>バス停にベンチをぜひ設置してほしい。</p> <p>「上屋やベンチの設置を検討する」と書かれているが、「設置を進めます」や「設置します」と書くべきではないか。</p>	1	<p>市内には上屋やベンチが設置されていないなど待合空間機能が十分でないバス停が多くあることは認識しております。</p> <p>素案では「上屋やベンチ等の待合空間整備について検討を行います」と記載しておりますが、市として取り組む姿勢を示すため、<u>ご意見のとおり「上屋やベンチの改善等の待合空間整備を進めます。」及び「待合空間の確保を推進します。」に修正します。</u>(P121 を修正)</p> <p>P117, 121</p>
11	サイクル&バスライドは進めてほしい（特に菅生台西口）。	1	<p>サイクル&バスライドはアクセス性の向上やバスの利用促進を図るため重要であると認識しております。</p> <p>「交通結節点整備と機能強化」に記載をしておりますが、市街地以外のバス停においても需要に応じて整備を進めることから、<u>「バスの便数が多く、バス停留所密度の低い（バス停留所間距離が長い、ほかのバス路線と離れている等）バス停留所等を対象に、需要に応じてサイクル&バスライド用駐輪場の整備を進</u></p>

			めます。」に修正し、整備を進めてまいります。(P123を修正) P123
12	姫路駅北口のバスターミナルは利用しにくくなった。かつては建物の中で座ってバスを待てたが、今は真ん中の「島」は歩道橋か地下道を利用せねばならないし、強い雨の日はずぶぬれになる。人間にやさしいバスターミナルに再びしてほしい。	1	<p>姫路駅北口のバスターミナルにつきましては、公安委員会など関係機関との協議の結果、ターミナル（島）利用者の安全性確保の観点から横断歩道を設置できないことから、ご不便をおかけしますが歩道橋や地下道での移動をお願いしております。</p> <p>また、バスターミナルには上屋（屋根）を設けておりますが、風雨の強い日には濡れることもございます。</p> <p>かつてのバスターミナルに再び戻すことは困難ですが、姫路駅～姫路城のエリアにつきましては、姫路駅北駅前広場周辺のトランジットモール化をはじめ、歩行者優先の道路空間整備を進めてまいります。</p> <p>P129</p>
13	キャッシュレス決済は本当に必要だろうか。高齢者や児童など、スマホを持たない人もまだまだ多い。	1	<p>キャッシュレス決済につきましては、「公共交通の高度化推進」に示すとおり、各交通手段の決済の一元化など利用者の利便性向上の取り組みの一つとして必要であると認識しており、拡充を進めてまいります。</p> <p>P113, 114</p>
14	次世代モビリティは本当に必要だろうか。それよりもスクールバスや会社の送迎バスを空き時間に利用してはどうか。	1	<p>次世代モビリティにつきましては、「公共交通の高度化推進」に示すとおり、今後、人口減少、少子高齢化が進む中、過疎地域等の小規模需要に対応した移動手段の確保のため必要であると認識しており、次世代モビリティの活用による移動手段の確保を目指してまいります。</p> <p>また、ご意見のとおりスクールバスや企業の通勤バス、医療施設や商業施設の送迎バスなどの活用も重要であるため、「他分野との連携強化と機能補完」に示</p>

			<p>すとおり、現況の公共交通を補完する交通手段として、あらゆる輸送資源を活用してまいります。</p> <p>P115-116, P57, 137</p>
15	<p>姫ちやりの返却方法や追加料金がわかりにくい。特に外国の方には難しいだろう。明らかに街の中心部周辺で働く人のためのもので、観光客に目が行っていない。拠点も少ない。</p>	1	<p>姫ちやりにつきましては、公共交通の機能を補完し、中心市街地の活性化と都心部の回遊性向上を目的に取り組んでおります。</p> <p>「利用者ニーズに対応する交通空間整備」に示すとおり、利用状況を考慮したサイクルステーション（拠点）の再配置やスマートロック式への移行を検討するなど、外国の方を含め利用者の利便性向上に取り組んでまいります。</p> <p>P128</p>
16	<p>自転車専用レーンは塗装部分にすべる部分があって危険である。</p>	1	<p>現在、自転車専用レーンの塗装部分は、すべりにくくするため施工後のすべり抵抗値などを定めた兵庫県下統一仕様で施工しております。今後も、「利用者ニーズに対応する交通空間整備」に示すとおり、姫路市自転車活用推進計画（仮称）に則り、安全で快適な自転車通行空間の整備を進めてまいります。</p> <p>P52, 126</p>
17	<p>一般道のアスファルトに痛みが多く、凹凸や割れになっていたりして自転車やバイクには危険である。「ここは国道だから」「県道だから」とたらい回しにせず、危険な場所を報告する窓口を市役所に設けてほしい。</p>	1	<p>いただいたご意見につきましては、本計画の記載内容に直接関係するものではありませんが、関係機関・関係部署に共有させていただきます。</p>